

事業報告書

2024 年 1 月 1 日から

2024 年 12 月 31 日まで

公益財団法人スポーツヒューマンキャピタル

〔 目 次 〕

1 当法人に関する事項

- (1) 事業の経過
- (2) 損益と財産の状況
- (3) 主要な事業内容
- (4) 主たる事務所の状況
- (5) 会員に関する事項
- (6) 職員に関する事項
- (7) 役員会等に関する事項
- (8) 対処すべき課題

2 役員等に関する事項

- (1) 理事
- (2) 監事
- (3) 評議員

1 当法人に関する事項

(1) 事業の経過

(単位：千円)

当期正味財産増減額	決算額
公益目的事業会計	△ 21,678
収益事業会計	△ 122
法人会計	7,641
合計	△ 14,159

*千円未満切り捨て

<事業の概況>

〔公益目的事業〕

公益財団法人スポーツヒューマンキャピタル（略称 SHC、以下 SHC）は、スポーツ基本法の目的でもある「国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展」に寄与するため、サッカーをはじめ他スポーツ団体とも連携をとりつつ、知的資産及び人的資源活用の整備、活用を通じて、スポーツ団体が行う諸活動の継続発展、さらに日本におけるスポーツの新たな価値提供の実現を目指しています。2024 年度は、今後の SHC の理念・中長期目標や事業内容に関する議論を重ね、12 月には、SHC 中期経営計画も【2025－2028】を策定し、公表致しました。

2024 年度においては、以下の事業を企画検討、実施しました。

① スポーツ経営人材養成／研修

1. 養成／研修「SHC スポーツビジネスコース」

プロスポーツ界の未来を担うスポーツ経営人材を発掘・育成する一般公開型スポーツ人材開発講座を企画・実施しています。国内外の先進的な事例の研究や、優れた専門家人材（プロスポーツ団体・クラブ、企業経営者、大学教員・研究者など）の招聘を積極的に行い、講座参加者の知見を高めるとともに、現場演習を重視した経営実践能力の向上・習得を促進するものです。

2024 年度は、公開型コースとして SHC スポーツビジネスマスターコース（44 名参加）、SHC スポーツビジネスベーシックコース（42 名参加）を開講しました。また、非公開型コースとして、チーム強化・選手育成の現職者を主対象とした強化マネジメントコース（13 名参加）を実施しました。いずれのコースも、オンラインを中心としつつ対面開催も一部組み込み、参加者間の人的ネットワーク構築も円滑に進みました。

2. 関連派生講座（SHC Café、など）

SHC コースにおける知見とコンテンツを活用しつつ、時世をとらえた派生講座「SHC Cafe」を開催しています。SHC コース修了者を主対象とし、2024 年度は英語コースのトライアル開催、及び外部専門家を招いた特別講義「パワーとネゴシエーション」を開催しました。「パリ 2024 オリンピック」後には、「パリオリンピックを振り返る～現地観戦者と組織委員会スタッフの立場から見えたもの～」と題し、パリ 2024 オリンピック・パラリンピック組織委

員会スタッフを招いた意見交換会を開催しました。

② スポーツ経営人材の活用（無料職業紹介）

SHC スポーツビジネスマスターコース及びスポーツビジネスベーシックコース修了者を対象に、スポーツ団体での活躍機会提供を目的として無料職業紹介を行いました。2024 年度は、SHC が直接紹介をした5 名を含み、計17 名がスポーツ団体へのキャリア転換を実現しました。SHC コース期間中にはキャリア面談を実施し、また過去のコース修了者とも随時キャリア相談を行いました。

また、「J リーグクラブ人事担当者の会議」にも陪席し、採用を含む人事領域に関する課題把握に取り組みました。

③ スポーツ経営人材の活用（副業推進）

スポーツ分野への人材流入促進を意図し、「新規採用の副業・兼業人材にかかる人件費の助成」を本年より開始しました。スポーツ団体がその事業発展のために新規採用する副業・兼業人材について、6 か月間の人件費を上限 60 万円まで助成するものです。初年度の今年は 8 団体に助成金を交付しました。

④ 派生講座、イベント、出版

SHC コース修了者を対象とした同窓会イベント「SHC Home Coming Day」では、各期の同窓会幹事が企画の中心となり、参加期を超えたネットワーキングの活性を図りました。開催当日は、会場参加 69 名、オンライン参加 37 名、計 106 名の SHC コース修了者が集い、知見と交流を深めました。また、新たな取り組みとして、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下「J リーグ」）依頼のもと、「J リーグ クラブ経営ガイド 2024」の制作協力、及びその英語版となる「J.LEAGUE CLUB MANAGEMENT GUIDE 2024」の制作協力を行いました。SHC では、最新のクラブ経営データやクラブ経営のナレッジを示す教材として、「J.LEAGUE CLUB MANAGEMENT GUIDE 2024」を活用し、海外の関係者も含めて、スポーツ組織の「グローバルな経営人材」の育成・輩出も目指してまいります。

〔収益事業等〕

SHC の人的資産と知的資産を活用し、スポーツ団体、ステークホルダーへの業務支援・コンサルティングを行います。対象分野に知見のある SHC 役職員、及び SHC 修了者が、その知見を活用し、スポーツ団体、ステークホルダーへの業務支援を実施します。実施に際しては、SHC に蓄積された調査・研究成果も活用してまいります。2024 年度は、スポーツ団体の採用業務における事務作業の一部受託、及び大学のスポーツビジネス関連講座支援として、環太平洋大学に講師派遣を行いました。

(2) 損益と財産の状況

(単位：千円)

	2024 年度 自 2024 年 1 月 1 日 至 2024 年 12 月 31 日
当期経常増減額	△ 14,037

当期一般正味財産増減額	△ 14,159
当期指定正味財産増減額	0
正味財産期首残高	50,925
正味財産期末残高	36,765

*千円未満切り捨て

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
公益目的事業	日本のスポーツにおける知的資産及び人的資源活用の基盤を整備、確立し、スポーツが提供する新たな価値を創造し、これからの世の中造りに貢献する事業 (1) スポーツ経営人材養成、研修事業 (2) 職業安定法に基づく職業紹介事業等スポーツ経営人材の活用事業 (3) 調査・研究事業 (4) セミナー、講演、出版事業 (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
収益事業	法人内に蓄積された人的資源と知的資産を土台とした、スポーツ団体、ステークホルダーへの業務支援を行う事業

(4) 主たる事務所の状況

名称	所在地	事業内容等
公益財団法人 スポーツヒューマンキャピ タル	東京都千代田区丸の内2丁目1番1 号 明治安田生命ビル	日本のスポーツにおける知的資産及び人的資源活用の基盤を整備、確立し、スポーツが提供する新たな価値を創造し、これからの世の中造りに貢献する事業

(5) 会員に関する事項

(2024年12月31日時点)

種類	当年度
特別協賛会員	1名
協賛会員	1名
賛助会員	1名
合計	3名

(6) 職員に関する事項

(2024年12月31日時点)

職員の数	1名	うち常勤	1名
------	----	------	----

(注) 理事兼務者を除き、他の機関・企業からの出向者、他の機関・企業への出向者、退職者を含む

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催日 2024年2月19日	(種類：通常)	出席理事 6名 (6名中)、出席監事 1名 (1名中)
開催日 2024年4月26日	(種類：書面)	出席理事 5名 (5名中)、出席監事 1名 (1名中)
開催日 2024年10月15日	(種類：通常)	出席理事 5名 (5名中)、出席監事 1名 (1名中)

名中)

開催日 2024 年 11 月 28 日 (種類: 書面)

出席理事 5 名 (5 名中)、出席監事 1 名 (1

名中)

開催日 2024 年 12 月 12 日 (種類: 通常)

出席理事 5 名 (5 名中)、出席監事 1 名 (1

名中)

② 評議員会

開催日 2023 年 3 月 24 日 (種類: 通常)

出席評議員 3 名 (3 名中)、出席理事 2 名 (4 名中)、出席監事 1 名 (1 名中)

開催日 2024 年 10 月 25 日 (種類: 書面)

出席評議員 3 名 (3 名中)

開催日 2024 年 12 月 19 日 (種類: 通常)

出席評議員 3 名 (3 名中)、出席理事 3 名 (5 名中)、出席監事 1 名 (1 名中)

(8) 対処すべき課題

(財務)

2024 年度も、既存会員への継続加入の働きかけとともに新規入会候補者の探索を積極的に進めてまいりました。しかしながら、実績は前年比 1 名減の会員数 3 名、会費収入は同 4,500 千円減の 35,000 千円に留まり、新会員の入会も実現しませんでした。この状況を打開すべく、協賛金額と特典とを都度設計する協賛パートナー制度を追加導入しました。これにより、新規パートナー獲得に注力し、将来的に持続可能な財務基盤の構築を目指します。事業面では、SHC スポーツビジネスマスターコース、SHC スポーツビジネスベーシックコース、及び SHC 強化マネジメントコースを各 1 コース実施しました。コース数は前年と同数でしたが、受講者はマスターコースで前年比 11 人増、ベーシックコースは同 14 人増となり、受講料収入は前年比 2,365 千円増となりました。受講料収入は増額となったものの、会費収入減を補うには至らず、収入額の合計は前年比 587 千円減の 56,875 千円でした。スポーツビジネスにおける開かれたプラットフォームとして、会員、パートナーの獲得とともに、SHC 各コース参加者の獲得に引き続き努めてまいります。

支出については、事業実施に必要となる役員報酬、コース実施の講師謝礼、各領域での業務委託費の他、今年度から開始した「新規採用の副業・兼業人材にかかる人件費の助成」の支払助成金、今後のコンテンツ開発を目的とした特定費用準備資金の取崩を含み、経常費用の合計は前年比 1,991 千円増の 70,913 千円となりました。この結果、当期経常増減額は、前年比 2,579 千円減の△14,037 千円となりました。特定費用準備資金については、来年度も計画的に使用してまいります。

(事業)

2023 年に収益事業の追加が認定されました。これまでの公益目的事業の中で法人内に蓄積された知的資産、及び SHC コース修了者を含む人的資産を土台に、スポーツ団体への業務支援を行います。2024 年度は、「J リーグ クラブ経営ガイド 2024」、及びその英語版となる「J.LEAGUE CLUB MANAGEMENT GUIDE 2024」について、SHC コース修了者と共に制作協力をしました。対象案件の開拓、実施体制の整備が今後の課題です。他方、2024 年度から、公益事業として「新規採用の副業・兼業人材にかかる人件費の助成」を新規に開始しました。本年は 8 団体を交付対象としましたが、この制度を永続的に継続していくためにも、助成金の原資確保に努めます。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

(2024 年 12 月 31 日時点)

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
代表理事	本間 浩輔	自: 2023 年 3 月 24 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(株) パーソル総合研究所 取締役会長
業務執行理事	鈴木 徳昭	自: 2023 年 3 月 24 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(公社) 日本プロサッカーリーグ 人材開発オフィサー
理事	黒田 卓志	自: 2023 年 3 月 24 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(公社) 日本女子プロサッカーリーグ 事務総長
理事	西野 努	自: 2023 年 3 月 24 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	横浜マリノス (株) スポーツダイレクター
理事	井形 有希	自: 2024 年 3 月 6 日 至: 2026 年定時評議員会終 結まで	常勤	

(2) 監事

(2024 年 12 月 31 日時点)

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
監事	大塚 則子	自: 2023 年 3 月 24 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(公財) 日本バドミントン協会 理事 (一社) 大学スポーツ協会 監事 (公社) 日本女子プロサッカーリーグ 監事

(3) 評議員

(2024 年 12 月 31 日時点)

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
評議員	野々村 芳和	自: 2022 年 3 月 30 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(公社) 日本プロサッカーリーグ 理 事長 (公財) 日本サッカー協会 副会長
評議員	窪田 慎二	自: 2022 年 3 月 30 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(公社) 日本プロサッカーリーグ 執 行役員 (公社) 日本女子プロサッカーリーグ 理事 (一社) 日本女子サッカーリーグ 理 事
評議員	高田 春奈	自: 2022 年 3 月 30 日 至: 2025 年定時評議員会終 結まで	非常勤	(公財) 日本サッカー協会 常務理事